

ガイドレスの無人搬送車

四恩システム 床面読み取り走行

【福岡】四恩システムを推定する無人搬送車（福岡県久留米市、二田純慈社長）はカメラで読み取った床面の細かい特徴に関する情報に基づいて自己位置を推定する無人搬送車（AGV、イメージ）を完成・発売した。磁気テープなどのガイドの敷設が不要で走行ルートを変更しやすい。特に

コンクリート床に適しているという。初年度10台の納入を目指す。標準モデルをベースとした場合の消費税込み価格は255万円から。センサーにはオランダのAccerion製の「Trition」を採用。床面の模様が難しい工場現場などでの利用を見込む。



のマップを作成し、データを照らし合わせながら走行する。劣化や破損などで床